

教育支援プログラム(A)

SEINAN
GAKUIN

取組名称	戦争をフィールドワークする（その4） ー第二次世界大戦及び冷戦が残したものを通して「平和」について考えるー
取組学部等	国際文化学部
取組期間	2020 年度

取組概要

2017 年度～2019 年度にかけて 3 年間実施してきた「戦争をフィールドワークするー第二次世界大戦が残したものを通して「平和」について考える」の続編として、本プログラムを実施する。本学部の学生たちが、世界各地に残る近現代の戦争の関連跡地を訪ねてグループでフィールドワークを行い、そうした戦争とわが国との関わりについて考えることによって、戦後 74 年が経過した現在でも戦争の悲惨さが各地に色濃く影を落としていることを再認識し、平和の大切さを実感する。今回のプロジェクトでは、学生のフィールドワークグループを 3 班組織し、班ごとに責任指導教員がついて、事前学習、フィールドワーク、事後学習を行うとともに、「戦争」をテーマにした講演会／シンポジウム等を開催し「平和」について深く考える機会をもつ。

① 事前学習（下記の A～C の責任教員を中心に当該事案に関する事前学習会を実施する）

② フィールドワーク

A 中国班（南満州鉄道株式会社の意味→大連市、瀋陽市など） 募集 6 名

→1906 年に設立され、1945 年のポツダム宣言受諾によって閉鎖された南満州鉄道株式会社（通称、満鉄）は、鉄道事業を中心として広範な事業を展開し、日本軍の満州経営の中核となった。特に、満州国建国および日中戦争期における「満鉄」の意味について学習する。

B ベトナム班（ベトナム戦争の経緯及びわが国との関係→ホーチミン市など） 募集 6 名

→冷戦期におけるベトナム戦争に、わが国は直接の関りをもっていないように見える。しかし実際には様々な関連性をもっており、当時の日本の世論形成等にも影響を及ぼしてきた。そのベトナム戦争をわが国との関係でとらえなおすための学習を行う。

C アメリカ・ハワイ班（真珠湾攻撃と日米関係・日米戦争→ホノルル市など） 募集 6 名

→1941 年 12 月 8 日（日本時間）未明の日本海軍機動部隊による真珠湾奇襲攻撃にいたる日米関係とその後の日米戦争の展開について学習する。

事後学習および講演会等（事後の学習発表会を実施し、「戦争」関連の講演会／シンポジウムの実施などを計画している）